卒業論文

黒人差別反対運動の展開と当事者団体の役割

―NAACP を事例として―

平成 19 年度入学
九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース
社会学・地域福祉社会学
平成 23 年 1 月提出

要約

本論文では、アメリカにおける黒人差別の状況改善に、指導的役割を果たした当事者団体の例として NAACP を取り上げ、NAACP がリーダー的存在になり得た要素を明らかにした後、黒人差別の改善策として有効だった手段を、21 世紀に応用する可能性について、考察している。

第 1 章では、本論文において重要な用語の定義を行った後、黒人差別の歴史について述べている。その後、差別を内容によって分類したうえで、より多くの事例を紹介している。

第 2 章では、黒人差別反対運動の展開における、リーダー的存在の重要性を示唆している。

第 3 章では、20 世紀の公民権運動で、指導的役割を果たしたキング牧師を例にとり、分析の中で、リーダーに必要な 3 要素（スピリチュアル要素、リーダーシップ要素、メディア要素）を示し、これらの要素を備えたリーダー的存在によって、黒人差別反対運動が展開したという仮説を立てている。

第 4 章では、仮説の検証にあたり、第 3 章で発見した「リーダーに必要な 3 要素」が、NAACP にも当てはまるか分析している。さらに、自治体と NPO を例として取り上げ、現代のアメリカにおけるリーダー的団体が備える要素についても、分析を行っている。

第 5 章では、日本の自治体と NPO についても分析し、日米間、または過去と現代のアメリカにおいて、リーダー的団体が備える要素の違いについて考察し、今後の展望を述べて本論文を締めくくっている。

目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第１章　黒人差別の歴史とその種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
第１節　用語の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
1-1-1　黒人の定義 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
1-1-2　人種差別の定義 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
第２節　黒人差別の歴史・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
1-2-1　奴隷としての黒人（1619～1865）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
1-2-2　社会的差別法（ジム・クロウ）の時代（1865～1954）・・・・・・・・・・ 7
1-2-3　ブラウン判決以後（1954～）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
第３節　様々な人種差別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
1-3-1　教育機会における不平等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
1-3-2　仕事における不平等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
1-3-3　住宅販売における不平等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
1-3-4　刑罰における不平等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
1-3-5　法律による人種差別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

第２章　問題設定と分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
第１節　問題設定――黒人差別反対運動の展開に貢献した要素の発見・・・・・・・ 21
第２節　分析――当事者から生まれたリーダーの重要性・・・・・・・・・・・・・ 21

第３章　リーダーの条件――キング牧師を事例として・・・・・・・・・・・・・・・ 23
第１節　キング牧師とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3-1-1　牧師としてのキング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3-1-2　モントゴメリー・バスボイコット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3-1-3　法廷での勝利・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
3-1-4　運動の普及・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
3-1-5　バーミングハムの合意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
3-1-6　ワシントン大行進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
第２節　リーダーが備える要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
3-2-1　スピリチュアル要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
3-2-2　リーダーシップ要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
3-2-3　メディア要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

第 3 節　仮説の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
第 4 章　仮説の検証――NAACP を事例として・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
第 1 節　NAACP の歴史と概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
4-1-1　組織の構造・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
4-1-2　創設者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
4-1-3　NAACP の発足・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
4-1-4　公式機関紙――*The Crisis*・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
4-1-5　NAACP――100 年間の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
第 2 節　分析――NAACP が備えるリーダー的要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
4-2-1　キング牧師との比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
4-2-2　仮説の検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
第 3 節　現代におけるリーダー的団体との比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
4-3-1　アメリカの自治体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
4-3-2　アメリカの NPO・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
4-3-3　現代と過去のリーダー的要素の比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

第 5 章　考察――現代への応用の可能性と今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
第 1 節　日米比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
5-1-1　自治体に関する日米比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
5-1-2　NPO に関する日米比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
第 2 節　日米間の相違点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
5-2-1　能力における違い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
5-2-2　文化の違い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
第 3 節　将来の展望と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54